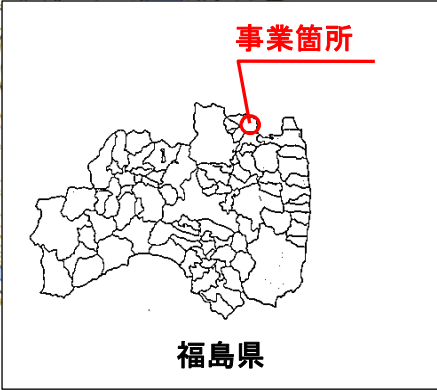


事業概要

(福島県：(都)中央線)

応募No.	4		
事業主体	福島県	事業箇所	福島県伊達市梁川町地先
応募者名	福島県県北建設事務所		
ふりがな 事業名称	けんぽくとしけいかくどうろじぎょう 3・4・604ごう ちゅうおうせんほかいっせん 県北都市計画道路事業3・4・604号中央線外1線		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、福島県伊達市梁川町の中心市街地を南北に縦断する都市計画道路の整備事業である。当区間は幅員狭小であり、交差点がクランク型交差点となっていることから、交通渋滞が発生していた。このため、車両及び歩行者の円滑で安全な交通の確保、商店街の景観向上及び地震時における緊急輸送路確保による防災機能の向上を図ることを目的として、平成14年に事業認可を取得し、令和4年度までに道路拡幅及び無電柱化の整備を実施した。</p> <p>本事業では、沿線の地権者や関係者により組織された「梁川町川北まちづくりの会」と連携して、ワークショップを開催し、街路景観整備の「基本計画」を策定した。また、周辺住民により、建築物や緑化、看板等のルールを定めた「景観形成住民協定」が締結され、「蔵の風情を取り入れた和風のまちなみづくり」のコンセプトのもとに、景観に配慮したまちなみづくりを行った。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約0.6km	
	幅員(m)	約6.0(16.0)m	
	事業期間(和暦)	平成14年度～令和4年度	
	事業費(億円)	約32億円	
受賞歴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無		
URL	—		

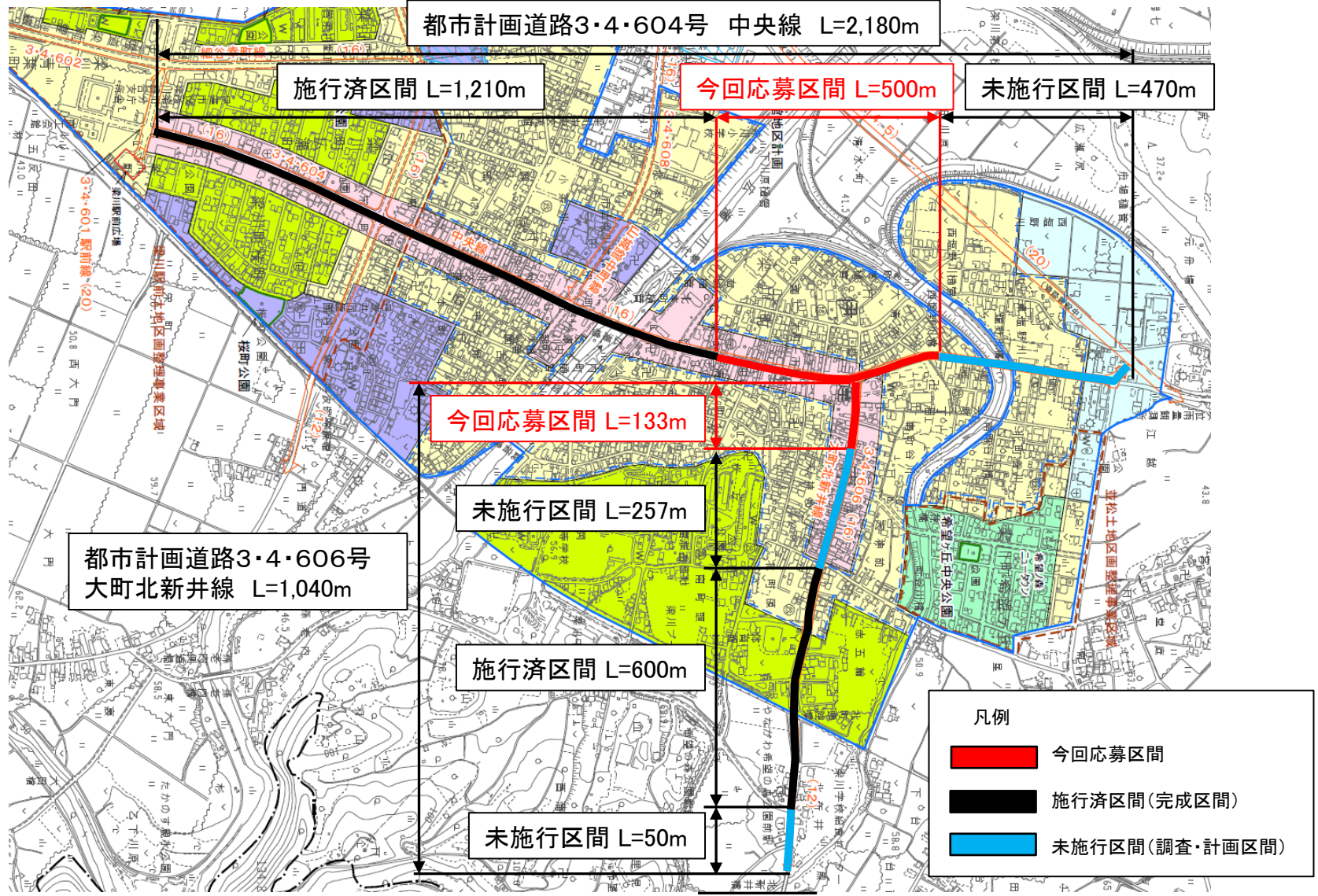
事業位置図



都市計画図(用途地域図)

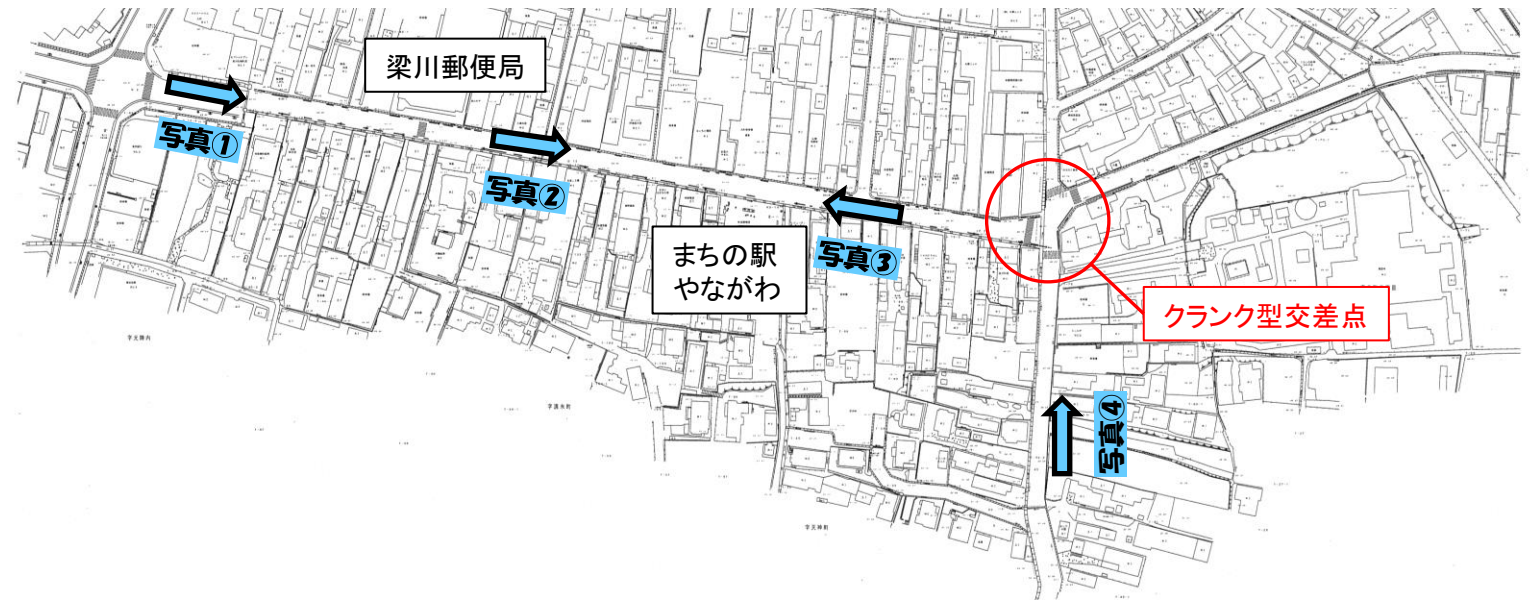


路線全体の進捗状況

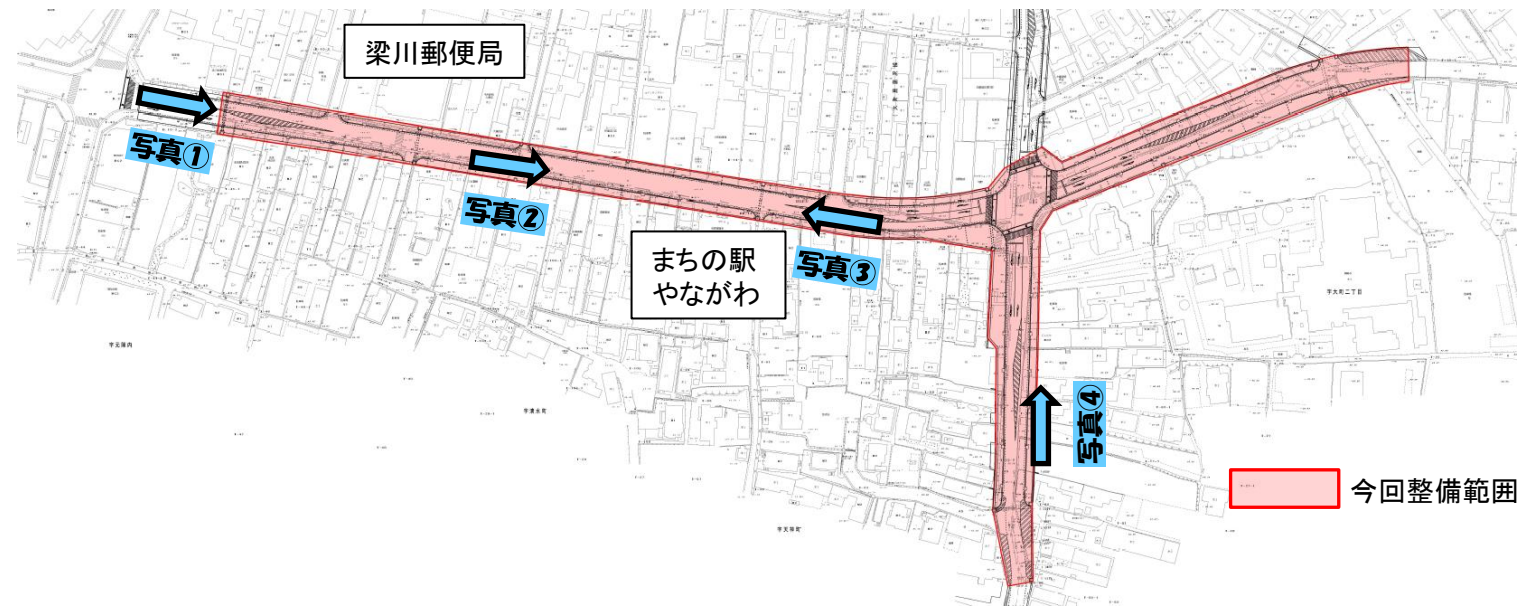


平面図

事業前



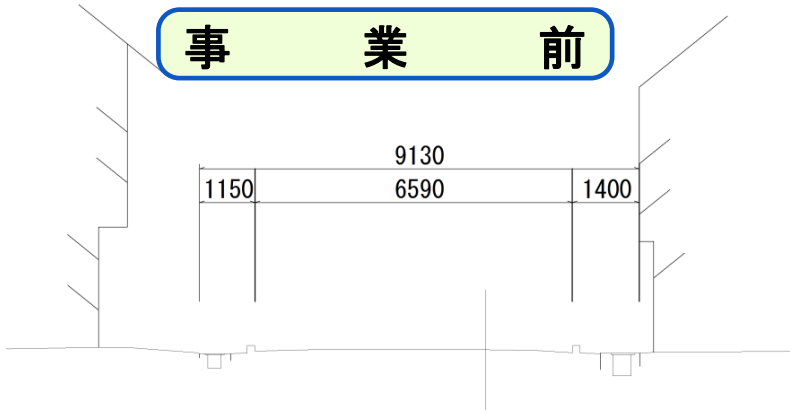
事業後



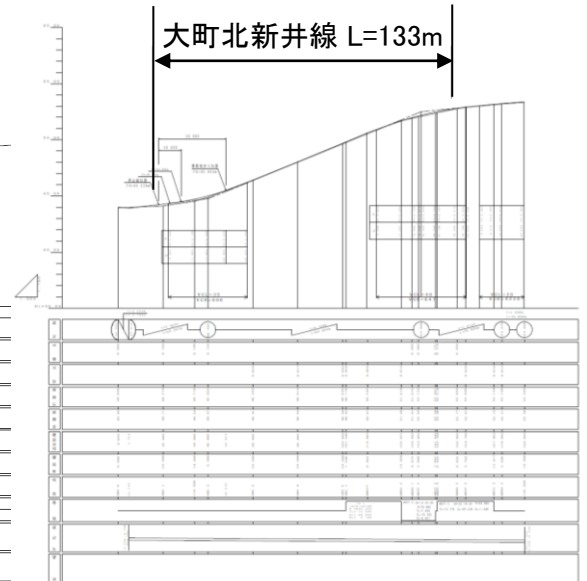
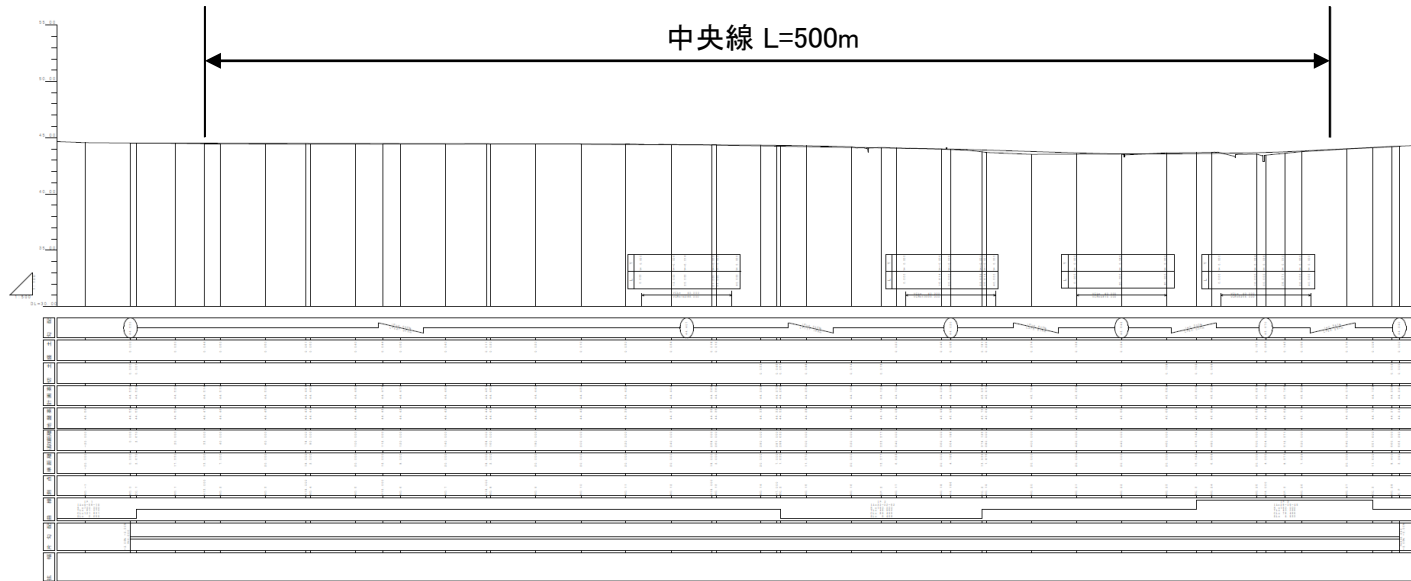
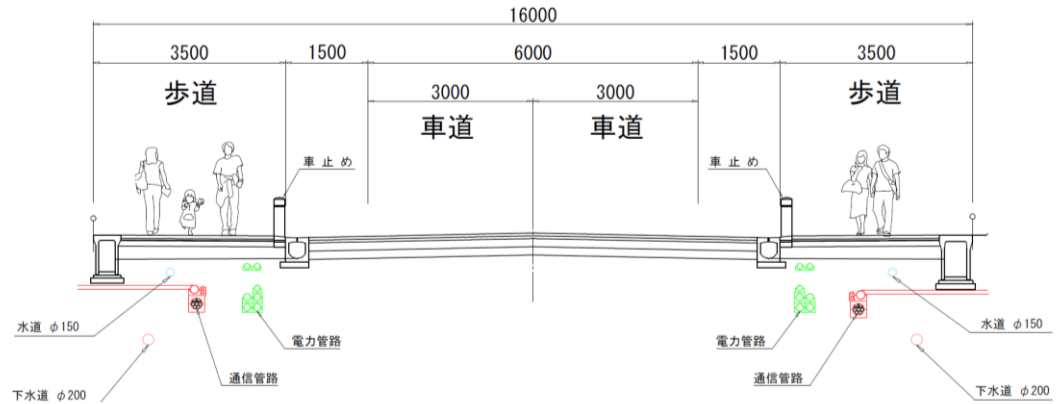
今回整備範囲

縦断図・横断図

事業前



事業後



事業前写真

事業後写真

(福島県：(都)中央線)



事業前写真

事業後写真

(福島県：(都)中央線)



事業効果アピール資料①

○道路拡幅、無電柱化、景観検討の実施 ～安全で景観に配慮した道路空間の形成～

- ・クランク型交差点の解消や道路幅員の拡幅により、交通渋滞が解消された。また、歩行者の安全が確保された。(平成17年度には、通勤ラッシュ時に60m～90mの渋滞長が発生していたが、現在は渋滞は発生していない。)
- ・電線共同溝による無電柱化により、地震時における緊急輸送路確保による防災機能の向上が図られた。(道路沿いに約30本あった電柱が、無電柱化により無くなった。)
- ・地域住民と連携したまちなみづくり検討により、「蔵の風情を取り入れた和風のまちなみ」が形成された。



整備前



整備後



整備後(起点より)

事業効果アピール資料②

〇にぎわいの創出 ～道路を歩行者天国として活用したイベントの開催～

- ・令和5年4月に都市計画道路・中央線の完成と、「まちの駅やながわ」の開業5周年を記念して「まちの駅やながわ春まつり」が開催された。
- ・道路を全面通行止めにして、歩行者天国にすることにより、輪投げ大会やキッチンカー販売、道路に並べられたテーブルでの飲食など、まちの一体化、コミュニティーの形成が図られた。
- ・今後も、完成した道路をまちづくりの舞台、ステージとして、イベントやお祭り等での活用が期待される。



春まつりオープニングテープカットの様子



春まつりの様子



苦労や工夫等アピール資料①

○地域住民と連携したまちなみづくり ～「蔵の風情を取り入れた和風のまちなみづくり」～

- ・平成12年に中央線の整備事業をきっかけに、沿線の地権者や関係者により、「梁川町川北まちづくりの会」が組織された。
- ・平成15年～17年にかけて県と梁川町川北まちづくりの会が事務局となり、10回のワークショップを開催し、街路景観整備の「基本計画」を策定した。(有識者(大学教授)や地元の学生も参加した。)
- ・周辺住民90名により、建築物や緑化、看板等のルールを定めた「景観形成住民協定」が締結された。(当協定は、福島県で8件目の「優良景観形成住民協定」に認定された。)



ワークショップの様子



策定された街路景観整備イメージ



景観協定に基づき建築された家屋や店舗

苦労や工夫等アピール資料②

○工事施工における苦労や工夫

- ・「街路灯」や「平板ブロック」、「車止め」については、「梁川町川北まちづくりの会」の意見を聞きながら当地区のまちなみづくりのコンセプトである、「和風のまちなみ」に合った色や材質の選定を行った。
- ・令和元年10月に発生した「東日本台風」により阿武隈川が増水し、支川に逆流したことにより事業区間内に浸水被害が発生し、工事中の箇所については、流入した土砂や瓦礫の清掃作業が必要となった。
- ・度重なる豪雨災害を踏まえて、河川改修が進められるとともに、浸水被害に備えるために、「梁川町川北まちづくりの会」が道路に隣接する「まちなみ駅やながわ」に「防災ベンチ」を設置した。
※防災ベンチ：災害発生時に必要となる資材(土嚢、テント、ロープなど)を収納出来るベンチ



街路灯、平板ブロック、車止め



東日本台風による浸水被害 (だて市政だより2019.12)



防災ベンチの設置状況

受賞歴・報道資料

- ・令和5年4月20日 福島民報新聞に掲載
「中央線大町工区完成祝い フラッグ制作し設置」
- ・令和5年4月21日 福島建設工業新聞に掲載
「都市計画道路中央線 大町工区整備事業が完成」
- ・令和5年4月25日 福島民報新聞に掲載
「まちの駅やながわ 開業5周年でまつり」
- ・令和5年4月26日 福島建設工業新聞に掲載
「中央線整備が完了 風情あふれる街並み形成」